

[横浜市民ギャラリーあざみ野]
令和5年度業務報告及び収支決算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所 在 地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地 3
構 造 ・ 規 模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上 3 階・地下 1 階
敷 地 ・ 延 床 面 積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² ／専有面積 1,975 m ²
開 館 日	平成 17 年 10 月 29 日

2 指定管理者

団 体 名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所 在 地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代 表 者	理事長 近藤誠一
設 立 年 月 日	平成 3 年 7 月 10 日
指 定 期 間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針 ※原則 5 年間（2020 年－2024 年）変更なし

【総合的な方針】

横浜市とのパートナーシップのもと横浜の文化政策を推進していきます。

多様化が進む横浜市北部地域に住む人々の共生社会実現に向け、誰もが社会に参画できる場、担い手として活躍できる場づくり、世代間交流や異文化交流を促し、市民がこの地で暮らす喜びと、活力のある地域作りを目指します。

東京都心等からの交通の利便性が高い好条件を活かし、市の施策でも求められている横浜のプレゼンス向上につながる発信力の高い事業、都心臨海部と連携した賑わいづくりを行います。

コロナウイルス感染症との共存が日常となる中、感染症対策に引き続き取り組みます。

1 誰もが文化に触れる機会を提供

- 当館では、今まで子どもを対象とした事業を多数展開してきており、参加者は増加傾向です。
近年は外国人の親子の参加も見られ、より多様な方々への発信が求められています。外国語対

応等、発信方法や発信先、運営方法を工夫し、誰もが参加できる事業を目指します。

- ・福祉団体と連携した事業や障がいがある方と楽しむ鑑賞会等、社会包摂の視点を重視した事業を実施してきたノウハウを活かし、高齢者等を対象とした事業にも着手します。

2 横浜の都市の魅力向上と賑わいづくりへ貢献

- ・開館以来、保存・調査研究に取り組んできた「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」を、今後も市外との連携を視野に積極的に活用します。
- ・市外からの来場者も多くあり高い評価を得ている、現代アートや写真をテーマとした企画展では、アーティストや鑑賞者同士の対話を深めるプログラム等を開催し、理解をより深めていただけるような機会を設けます。
- ・横浜トリエンナーレをはじめとする横浜芸術アクション事業（ダンス、音楽）等の関連事業を実施し、横浜全体の魅力づくり、賑わいづくりに貢献します。

3 地域コミュニティの抱える課題へのアプローチ、地域資源の有機的な関係性づくり

- ・男女共同参画センター横浜北との連携により、女性の社会進出やLGBTQに関わるテーマも取り上げた事業を開催する等、地域や社会の課題に気づく機会をさらに創出していきます。
- ・文化芸術の領域を超えた地域資源紹介や北部地域の文化施設、国際交流拠点、大学、企業等との連携を更に拡大します。
- ・当館の活動を支援する市民ボランティアの世代間交流や文化芸術振興の担い手としての活動の場を充実させていきます。

4 市民の皆さんに親しまれる施設に。安全で快適な施設に

- ・利用者の高齢化等を見据え、利用サポートの新たなメニューを充実させます。

（2）令和5年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

光熱水費・人件費等が急騰する中で、合理的・効果的な事業執行および施設運営を心がけ、第4期指定管理提案に掲げた「6つの使命」に沿った事業を、強化、展開していくことができました。

また2月から40日間、天井パネル交換工事のため当初予定がない臨時休館となり、企画展「あざみ野フォト・アニュアル」が開催延期となりましたが、その間コレクションのWEB展覧会や小学校等でのアウトリーチを行いました。

「使命1」誰もが普段着をまとうように、文化芸術がより身近になることで、多様な価値観との出会いが生まれ尊重し合う地域社会の醸成につながることを目標に、子どもやファミリー向け事業をはじめ、さまざまな層に向けた事業を計画どおり開催しました。参加者の意識も、コロナ前の状況に戻りつつあり、予約制による人数のコントロールや、参加者が安心して活動できる環境は維持しながら、募集人数を前年度より増やして実施しました。

注力した取り組みとして、文化庁「障害者等による文化芸術活動推進事業」助成金による「認知症の方とその家族・介護者のための対話型鑑賞会（やさしい美術鑑賞会）」が挙げられます。社会全体で喫緊の課題である高齢者問題に、アートを通して向き合おうとするプログラムであり、高齢者

や認知症患者が病気や環境の変化に左右されることなく、その家族・介護者などの関係者といっしょに美術館やギャラリーへ出かけて、新しい経験をする楽しみを享受することを目指した事業です。前年度から取り組みをスタートさせ、今年度が2年目となります。前回の振り返りを活かし、2回の紹介と体験会、専門家による座学講座を2回、また全3日間のサポーター養成講座を開催後、「やさしい美術鑑賞会」を2回、行いました。サポーター養成講座には、財団内の美術系施設だけでなく舞台系施設職員の参加や、横浜市職員、他都市美術館からの視察があり、この事業に対する社会的な関心度の高さとあわせて事業を開催する意義を強く感じました。

「外国人親子のためのフリーゾーン」は、やさしい日本語および英語による動画を公開し広報の充実を図ったほか、やさしい日本語と英語によるチラシを作成し広く周知を行い、この地域に住まう多様な属性の方が気軽に文化芸術にアプローチできる場の提供につとめました。

夏休みのこども事業「あざみ野こどもぎゃらりぃ 2023」では、展示室をぞうけいの研究室「ラボ」に見立てて、活動を楽しんでもらいました。900の予約枠が初日3時間でほぼ埋まってしまうほどの人気ぶりで、子育て世代からのニーズの高さが伺えました。最終日には「あざみ野ダンス・ラボ2023」として、ダンスのワークショップと初参加の地元・市ヶ尾高校ダンス部のパフォーマンスがあり、身体表現の多様性と楽しさを味わってもらいました。

ホームページがスマートフォンにも対応できる仕様となったことによりスマートからのアクセス数が大きく増えました。

「使命2」当館の特色の一つである現代アートへのアプローチについては、企画展「あざみ野コンテンポラリーvol.14」として「長谷川繁展 1989-」を開催しました。約40年にわたり絵画を表現手段としてきたアーティスト・長谷川繁の未発表作品群から、1989年から92年までのドイツ滞在中の連作やオランダ滞在時期の大型作品、そして近年の自在なモチーフの組み合わせによる作品まで、その一連の仕事を俯瞰し「豊かな謎」を展開する展示となりました。

『横浜市所蔵カメラ・写真コレクション』を軸とする企画展「あざみ野フォト・アニュアル2024」については、エントランス天井パネル交換工事による臨時休館があり、企画をそのまま来年度に延期しました。閉館中はWEB展覧会「みどころキューブ」を活用し、コレクションから約50点をWEB上で紹介しました。

エントランスロビーで行う「Showcase Gallery」では、3つのテーマ「カメラ・写真コレクション」・「黄金町連携」・「陶芸」に沿って、同時代を生きる若手アーティストによる意欲的な作品が並びました。

アーティストやその作品についてより理解や関心を深めてもらうためには、アーティストご本人が語り伝えることは極めて有効です。企画展の関連イベントとして、アーティスト・トークや対談を開催し、興味と感心をひらく機会を提供しました。また、当館で展示等を行ったアーティストのインタビュー動画をWEBに公開・アーカイブしており、今年度もコンテンポラリー展、ショーケースギャラリーの作家3本、市ヶ尾高校ダンス部メンバーのインタビュー1本、アート+認知症2本の計6本を、YouTubeで公開しています。

市民向け講座は、臨時休館中は日程を前後にずらして全講座を予定通り開講しました。

「使命3」文化芸術の力を活かし、地域の課題とともに向き合うという大きな使命に対して、課題に向けてさらに前進した年となりました。具体的には使命1にも記述した「対話型鑑賞会」プログ

ラムの展開です。2年目の実施にあたっては、とくに地元の地域ケアプラザや若年性認知症通所施設からのアドバイスや協力が欠かせませんでしたが、鑑賞会や講座を、一緒に考え企画していく過程がありました。

「使命4」 “文化芸術を媒介に北部地域の様々な公共施設、教育機関、市民団体、企業、自治会等が相互につながり合う取り組みを進め、協働から地域の活力を生み出す” という使命に対し、文化庁「Innovate MUSEUM」助成金は不採択となったものの「よこはま縁むすび講中実行委員会」メンバーとして、定期的な情報交換を行い、連携事業2講座を開催しました。また横浜市歴史博物館が会場となってよこはま縁むすび講中の活動を紹介するポスター展示を行い講中の各団体の活動を周知することができました。そのほか、青葉区民文化センターフィリアホール・緑区民文化センターみどりアートパーク・かなつくホール・あじさいプラザとは定期的にオンラインでの情報交換を通じて関係性を深め、連携事業やピアレビューの実施が叶うなど、文化施設間のネットワークが継続できました。

「使命5」 5月にコロナウイルス感染症が5類に移行となり、日常が戻ってきた年でした。従前以上に、利用者・来館者に「また次も使いたい」「また来たい」と思っていただけるよう、ホスピタリティあるコミュニケーションにより満足度の高いご利用につながることを意識し、アンケートやヒヤリングによるご意見を運営に反映させるよう努めました。事務効率化・ダブルブッキングや個人情報漏洩といった事務処理ミスを防ぐため、11月から施設予約管理にシステムを導入しました。

「使命6」 前年度から顕著になったエントランス部分の雨漏りについて、横浜市負担にて7月に屋上防水工事、そして2月に40日間臨時休館し発錆があり落下の危険があった天井パネルの交換工事を実施しました。施設利用者に安心・安全で快適な場を常に提供するために、センター横浜北・設備管理会社である西田装美と週一回の定例ミーティングを行い、施設の日常的な維持や予防的修繕対応に努めました。またスタッフ全員による実践的な防災訓練等によって、日々の防災意識を高めました。横浜市所蔵カメラ・写真コレクションについては、良好な状態で次代に引き継ぐよう、適切な管理を行いました。

4 業務の取組と達成状況

(1) 事業について

ア 使命1：横浜市北部地域の幅広い属性の方へ、社会的包摂の視点を踏まえ、美術を中心として文化に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むとともに、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●高齢者が文化芸術活動に参加し担い手となる取り組み	●高齢者（65歳以上）や認知症の方を対象にした事業 □企画展での対話型鑑賞会実施 2回 ■地域ケアプラザとの協働	■若年性認知症介護サービス会社GARSP㈱・横浜市荏地域ケアプラザとの共催により「アート+認知症 やさしい美術鑑賞会」を実施し、認知症の方とその家族や介護者が施設に鑑賞に訪れた。 □取組紹介&美術鑑賞体験会 2回 ・10/25, 29 計22名参加 □アート+認知症 やさしい美術鑑賞会 2回

	<p>□ファシリテータ養成講座 1回</p> <p>□専門家を講師に招いた勉強会 2回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1/17 26名、1/19 15名 <p>■共催 GRASP(株)・横浜市荏田地域ケアプラザ</p> <p>□アート+認知症 やさしい美術鑑賞プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/4 「認知症の基礎知識のコミュニケーション」 上野優美（横浜みなと赤十字病院）24名 ・11/12 「健康で幸せ（ウェルビーイング）になるアートの活動」 稲庭彩和子（国立アートリサーチセンター）24名 <p>□やさしい美術鑑賞会「サポーター養成講座」 講師 三ツ木紀英</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/12、16、17、19 のべ126名参加 ・1/16 財団職員研修 9名参加
<p>●在住外国人の方々が来館しやすい仕組みを充実</p>	<p>●在住外国人ファミリー支援団体と協働し、事業に参加しやすい仕組みを模索</p> <p>□外国人親子対象のフリーゾーンの開催 1回 40名</p> <p>□参加者アンケート実施 1回</p> <p>■「親子のフリーゾーン」の英語・やさしい日本語チラシ配布</p> <p>■英語・やさしい日本語の紹介動画公開</p>	<p>■支援団体NPO法人Sharing Caring Cultureとの協働</p> <p>□外国人親子のためのフリーゾーン開催 1回 3/24 参加7組21名（未達） 協力：NPO法人Sharing Caring Culture</p> <p>□アンケート実施 1回</p> <p>■やさしい日本語・英語の2種類のチラシ配布</p> <p>■やさしい日本語・英語の2種類の紹介動画をYouTubeで公開中</p>
<p>●幅広い市民の皆様の「やってみたい！」を応援</p>	<p>●市民のためのプログラム</p> <p>●あざみ野カレッジ</p> <p>□文化芸術部門 4回</p>	<p>■市民のためのプログラム開催</p> <p>※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>□あざみ野カレッジ「文化芸術部門」 年4回 計139名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/27 現代美術探求ラボ vol.10 「展覧会の新しいフォーマット アナクロニズムって何？」講師 天野太郎 41名

		<ul style="list-style-type: none"> ・7/22 「マルセル・デュシャンとレディメイド—創ることについて考える」講師 中尾拓哉 43名 ・10/14 「マルセル・デュシャンとレディメイド、そしてチエスへ—選ぶことについて考える」講師 中尾拓哉 34名 ・11/11 女性画家シリーズ「マリー・ローランサン 1920年代パリの女性文化と前衛」講師 沼田英子 21名 <p>□地域資源部門 3回 うち1回はカメラをテーマ</p> <p>□年間参加人数 220名（文化120名、地域100名）</p>
●アートで子どもの情操や共感能力を育てる	<p>●企画展「あざみ野こどもぎやらりい2023」開催</p> <p>□開催時期：7月末～8月初（夏休み期間）10日間</p> <p>□来場者 1,800名</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」年3回 計55名（未達）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/10 「アナログレコードで聴く クラシック音楽の録音技術とその発展」講師 芥川純一 29名 協力 青葉区民文化センター フィリアホール、アキュフェーズ株 ・1/20 「かやぶき屋根プロジェクトって何？」講師 橋口豊 9名 ・2/10 「写真が可視化したもの～横浜市所蔵カメラ・写真コレクション探訪」講師 主任学芸員 日比谷安希子 14名 会場 横浜市歴史博物館 ※1/20・2/10 よこはま縁むすび講中事業（横浜市歴史博物館×横浜市民ギャラリーあざみ野）として開催 <p>□7/28-8/6 「あざみ野こどもぎやらりい 2023 ぞうけいラボ」2,893名</p> <p>展示室をアートの研究開発所「ラボラトリー」に見立て「特別なジュースをつくろう」「のびのびお絵かきしよう」「ジャングルをつくろう」「絵をうごかしてみよう」のコーナーとつくり、子どもたちが研究員となって参加。</p> <p>■アニメーション作家・端地美鈴さんの映像作品を展示</p> <p>■アートサポーターの参加 のべ23名</p> <p>■時間制入場予約システム導入</p> <p>■8/5・6 関連企画「あざみ野ダンス・ラボ」を開催し、夏休みならではの賑やかさの創出とダンスを通じて表現の多様さを提示</p>

	<p>■地元のダンス名門校・市ヶ尾高校ダンス部を招聘 しパフォーマンス</p> <p>□参加者合計 120 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/5 親子で K-POP を踊ってみよう 10 組 21 名 ・8/5 中高生コンテンポラリーダンス 9 名 ・8/5 姿勢教室 22 名 ※ ・8/5 中・高生 HIP-HOP 5 名 ・8/6 市ヶ尾高校ダンス部パフォーマンス 観覧者 63 名 <p>※赤レンガ倉庫 1 号館共催</p>
<p>○小学校写真カメラ ワークショップ</p> <p>□ワークショップ 年 1 回</p> <p>□展示「写真と俳句」 1 回</p> <p>□展示来場者 600 名</p> <p>●予約制だよ！あざ み野 親子のフリーゾ ーン</p> <p>□月 3 回/年 36 回開 催</p> <p>□年間 2,268 名</p> <p>●子どもまたは家族 のための造形プログ ラムの開催</p> <p>■年中・年長・低学年・ 高学年を対象とした 子ども向け造形プログ ラム開催</p> <p>■あざみ野ファミリ ーワークショップと</p>	<p>■カメラ文化を子どもたちに伝える</p> <p>□ワークショップ 2 校 (のべ 12 回) 開催</p> <p>□参加児童数 のべ 416 名</p> <p>□10/7-10/15 展示「写真と俳句展～小学校 5 年生た ちのまなざし」 1 回</p> <p>□来場者 609 名</p> <p>□予約制だよ！親子のフリーゾーン</p> <p>月 3 回 休館中を除く 計 33 回開催</p> <p>参加者数 933 組 3,227 名参加</p> <p>4/13・22・30、5/11・17・24、6/8・18・24、 7/13・16・22、8/17・20・27、9/14・17・20、 10/12・15・28、11/16・19・25、12/10・14・16、 1/11・13・21、3/14・17・23</p> <p>□平均満足度 4.89 (5 点満点)</p> <p>□3/24 外国人親子のためのフリーゾーン 【再掲】 年 1 回／参加者数 7 組 21 名参加</p> <p>□子どものためのプログラム 計 13 回講座 19 回開催</p> <p>■子ども向けプログラム 10 講座 13 回 217 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/30 「えのぐであそぼう！スタンプあそび」(年長 児) ・5/14 「つなげてならべてあそぼう」(年中児親子) ・6/18 「自分の色をつくろう」(小 1-3 年) ・8/20 「えのぐであそぼう」(年中児)

	<p>開催 □年 13 講座 年間 235 組</p> <p>●横浜市芸術文化教育プラットフォーム □4校</p> <p>●障がいのある方を対象とした事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9/17 「やきものでレリーフをつくろう」(小1-3年) ・11/19 「文字でえがくアート」(小4-6年) ・6/3, 10, 17, 24 「油絵をかこう」(小4-6年) ・12/10 「やきものをつくろう」(年長組) ・1/21 「かみでつくろう、おさんぽ鳥」(年長組) ・3/17 「木でお道具箱をつくろう」(小1-3年) <p>■あざみ野ファミリーワークショップ 3講座のべ6回 137名</p> <p>小学生以下の子どもと保護者対象のワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/26 「クレイアニメをつくろう」(2回) ・10/22 「ハロウィンコロコロゲームをつくろう」(2回) ・2/18 「空き箱カメラをデコろう」(2回) 場所: 山内地区センター※臨時休館中の事業 <p>□横浜市芸術文化プラットフォーム 4校実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/2, 3, 5 新吉田小 (5年生4クラス、121名) 山田裕介/リサイクルアート※1 ・10/30, 11/13, 24 田奈小 (個別支援級、16名) 川崎和美/ダンボールアート ・11/6, 24, 29 高田小 (個別支援級、17名) 南條健吾/ダンス ・11/29, 30, 12/1 すみれが丘小 (5年生2クラス、58名) 山田裕介/リサイクルアート ※2 <p>リサイクルアート資材協力: ※1 古河電工パワーシステムズ(株)、※1 (有)かなめ、※2 古河電工パワーシステムズ(株)</p> <p>●親子で造形ピクニック □月1回／年12回開催 年間120名</p> <p>●学校のためのプログラム □10校</p> <p>□親子で造形ピクニック (個別支援学級や特別支援学校に通う親子が対象) 年間11回 参加者数: 74組 244名 4/15、5/20、6/17、7/15、8/19、9/16、10/14、11/18、12/9、1/20、3/16 ※臨時休館の2月は実施なし</p> <p>□造形活動による学校支援「学校のための造形プログラム～障がいのある子どもたちのためのアトリエプログラム」</p>
--	---	--

	<p>■青葉区校長会で説明 ■当館ホームページから公募</p> <p>●施設を訪れたすべての方々にアートの息吹を</p> <p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」vol. 14</p> <p>●企画展「あざみ野フォト・アニュアル2024」</p> <p>●Showcase Gallery</p> <p>□年3回 うち1回は黄金町バザールと同時期開催</p> <p>□ インタビュー YouTube公開 3本</p> <p>●あざみ野こどもぎやらりい関連事業「あざみ野ダンスラボ2023」</p> <p>□年1回、8月</p> <p>●フェローアートギャラリー</p> <p>□年3回</p>	<p>個別支援学級や特別支援学校の、学校単位での造形体験の場を提供。40名を超える場合は2回に分けて開催。 年間10校11回開催 参加者数：263名</p> <p>■青葉区小学校校長会にてアトリエ学校利用について案内したほか、学校ポストを利用し北部4区小学校および市内特別支援学校に案内。R6年度募集に28校から応募があった。</p> <p>■企画展「あざみ野コンテンポラリーvol. 14 長谷川繁 1989-」 ※企画内容を変更 ※詳細は、「イ 使命2」にて記載</p> <p>※天井パネル交換工事による臨時休館のため開催なし（企画内容をR6年度に延期）</p> <p>□Showcase Gallery</p> <p>1Fエントランスロビー</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/15-9/18 アーティスト×横浜市所蔵カメラ・写真コレクション 鈴木のぞみ展 9/23-12/10 黄金町エリアマネジメントセンター連携企画 太田るなシャワ展 3/16-5/26 シリーズ陶の表現 進藤詩子展 <p>□展示作業の風景とアーティストインタビューの動画をYouTubeで公開 3本</p> <p>■8/5・6 関連企画「あざみ野ダンス・ラボ」開催 【再掲】</p> <p>□フェローアートギャラリー 年3回 2Fラウンジ ・4/2PF-6/25 福岡左知子展</p>
--	---	--

	<p>○フェローアート・ギャラリー・エクステンション □年1回、1か所 ※他施設と共に開催</p> <p>○Welcome！ロビーコンサート □年7回 年間延べ700名 ※男女共同参画センター横浜北と共に</p> <p>●情報発信の充実 ■即時性を活かした情報発信 □情報誌「アートあざみ野」の発行 年3回 ■事業・イベント告知、施設・地域のニュースをSNSで紹介</p>	<p>・9/27-11/26 たんぽぽの家演劇チーム「HANA PLAY」展 ・11/29-1/21 牧島美帆展</p> <p>□フェローアートギャラリー・エクステンション 年1回 ・6/29-9/3 毛利秀勝展 青葉区民文化センターフィリアホール外廊下（無料エリア）で展示 ※フィリアホール共催</p> <p>●Welcome！ロビーコンサート 1Fエントランスロビー (10/22のみレクチャールーム、1/7アートプラザ屋外) ■クラシックを中心に、ジャズ、和太鼓等による無料の演奏会を開催 □年8回、来場者数 計888名 6/4、7/9、7/10、9/10、10/22、12/3、12/23、1/7、3/17 ※男女共同参画センター横浜北と共に ※12/23 DST-NEXTと新共催事業 ※9/10、10/22 横濱ジャズプロムナード連携事業 ※10/22 横浜みなとみらいホール協力事業</p> <p>●あざみ野ロビーピアノ・プロジェクト ■令和5年度より定期開催 ロビーコンサートで使用しているグランドピアノを毎日曜日 17：00-19：30にだれでも予約なく無料で弾ける「ロビーピアノ」として開放 □年46回 参加者数 計225名 ※臨時休館中は実施なし</p> <p>■WEBサイトのスマホ対応化によりスマホからのアクセスが7割を超える状況 □「アートあざみ野」3回発行 5、9、1月 ■X（旧Twitter）、Facebook、Instagramによる広報 ■臨時休館中もInstagramを中心に発信</p>
--	---	---

イ 使命2：市内外に向けて、カメラ・写真コレクションを生かした映像分野の拠点となるとともに、現代のアートの発信拠点となる。また、多様な美術分野への様々なアプローチを用意することで、美術に対する関心を喚起する機会を創出し、北部地域の文化活動人口の増加に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの活用	<p>●企画展「あざみ野フォト・アニュアル2024」【再掲】</p> <p>□年1回 2月 来場者数 企画展 1,500名・コレクション展 1,500名 □平均満足度 4.6以上</p> <p>●カメラコレクションに関する講座開催</p> <p>□2月 1回 30名</p> <p>○小学校写真カメラワークショップ ※よこはま縁むすび講中と共に □ワークショップ年1回 □「写真と俳句」展示1回</p> <p>○教師のためのプログラム □7月 1回 50名</p>	<p>※2/1-3/11 臨時休館のため開催なし 企画内容を次年度に延期</p> <p>□2/10 あざみ野カレッジ「写真が可視化したもの」 講師 日比谷安希子（担当学芸員）【再掲】</p> <p>□近隣小学校2校に出張し5年生に写真ワークショップを開催 ・5/15・26・6/1・9 山内小学校 5年生3クラス、のべ6コマ実施 ・6/6・20・7/4・11 慶應義塾横浜初等部 5年生3クラス、のべ6コマ実施</p> <p>□10/7-10/15 「写真と俳句展～小学校5年生たちのまなざし」展示 1回 写真ワークショップの成果展として、子どもたちが撮影した写真に自作の俳句を添えた作品を展示</p> <p>□来場者数 609名</p> <p>□8/1 教師のためのワークショップ「アニメーションで教えるために～つくり・楽しみ・考え方～」『フレットアニメ』アプリを使用しアニメーションを作成するワークショップを開催 対面2回 計50名</p>

		<p>講師 布山タルト、荻原健一 ※横浜市教育委員会と共同主催</p> <p>○「横浜市立中学校アニメーションフェスティバル」 ※横浜市教育委員会と共催 □1月 1回</p> <p>□1/20 横浜市中学校アニメーションフェスティバル上映会 出品校 8校 会場 横浜市庁舎アトリウム 講師 井上仁行、端地美鈴 市立中学校美術部の生徒による作品発表会／講師手配・進行サポート、ステッカー作成・配布 ※横浜市教育委員会・横浜市立中学校教育研究会美術部会、横浜市立学校総合文化祭実行委員会との共同主催</p> <p>●カメラ・写真コレクション保存・研究・WEB公開 ■収蔵作品の状態確認・調査・整備の実施、不正確な目録を調査、補完して修正。 ■カメラのデータ登録が完了 □閲覧件数 16,838 件 (検索トップと個別資料ページの閲覧数合計) ■データベース整備 随時 ■経常的な作品の状態確認・修復 ■収蔵環境調査の実施 ■外部からの貸出、熟覧への対応 ■9/19-3/31 デジタルアーカイブを活用したWEB展覧会「みどころキューブ」を公開し、コレクションから約 50 点を紹介 ■横浜美術館紀要に担当学芸員がコレクションについて寄稿 □情報誌「アートあざみ野」に「Gallery on the Magazine」としてコレクション紹介の記事連載 年 3 回 □WEB に過去 11 回分の記事を遡って掲載</p> <p>● Gallery in the Lobby □年 4 回</p> <p>□Gallery in the Lobby (小展示) 総合受付横で年 4 回展示 ・ 5/6-5/28 カメラのしくみ ・ 9/30-10/22 小型軍用カメラ ・ 10/25-11/15 フайнダーがないカメラ ・ 3/12-3/31 カラフルなカメラ</p>
--	--	--

	<p>■城西国際大学による展示解説データ提供受け</p>	<p>■コンテンポラリー展は出品作家変更があり実施なし ■フォト・アニュアルは臨時休館による展覧会延期により実施なし ■Gallery in the Lobby 展示鑑賞コンテンツの制作 4回 ■東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関とは日常的に連携し、コレクションの管理等について情報交換 ■カメラ・写真コレクション英語版データベースの運営</p>
●現代アートの発信拠点として	<p>●企画展「あざみ野コンテンポラリー」 □10月1回 1,500名 □平均満足度 4.6 以上</p> <p>●Showcase Gallery (小展示) 【再掲】</p> <p>●アーカイブ&アーティストインタビュー 一 □5本</p>	<p>□10/7-10/29 「あざみ野コンテンポラリーvol. 14 長谷川繁 1989-」 来場者 1,788 名 平均満足度 4.65 (5点満点) 【関連事業】 ■10/7 アーティスト・トーク 86名 ■10/21 対談 長谷川繁、加藤泉（美術家） 40名 ■10/9 担当学芸員によるギャラリー・トーク 佐藤直子（担当学芸員） 1名</p> <p>□Showcase Gallery (小展示) 【使命1 再掲】</p> <p>□アーティストインタビュー動画 YouTube で公開 ・長谷川繁、鈴木のぞみ、太田るなシャワ ※進藤詩子は R6 年度公開 3本 ・市ヶ尾高校ダンス部1年 1本 ・アート+認知症動画 2本 計 6 本</p>
●市民の皆さんがあ 主体となって 文化芸術活動 に関わる取組	<p>●市民のためのプログラム 【再掲】</p> <p>●着衣クロッキー、</p>	<p>■市民のためのプログラム 【使命1 再掲】 「あざみ野オープンスタジオ」と「講座」があり、さまざまなプログラムを用意し市民の「やってみたい」に応える講座。毎回応募数が定員を上回り抽選になる人気。</p> <p>□あざみ野オープンスタジオ 5コース・各4回 のべ20回 のべ参加者 325名</p>

	<p>ヌードクロッキー</p> <p>□1 コース 4 回の 5 コース・20 回／参加 人数 250 人 □平均満足度 4.6 以上</p> <p>●講座</p> <p>□6 講座 22 回／参加 人数 290 人 □平均満足度 4.6 以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「着衣クロッキー」A・B コース（1 コース 4 回） ・「ヌード・クロッキー」A・B・C コース（1 コース 4 回） <p>□平均満足度 4.5（5 点満点）</p> <p>□講座 年 6 講座 20 回 のべ参加者 286 名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてのデッサン 静物と人物 全 5 回、のべ 92 名 ・漆の技法 蒔絵と螺鈿 全 3 回のべ 41 名 ・7/29 ショーケースギャラリー 鈴木のぞみ展 関連ワークショップ「日常にある穴で写真を撮ってみよう」 1 回 12 名 ・はじめての透明水彩 全 5 回のべ 83 名 ・はじめての陶芸 全 4 回のべ 43 名 ・3/20, 30 ショーケースギャラリー 進藤詩子展 関連ワークショップ「紙と陶に描く『いつかどこかの風景』」 全 2 回のべ 30 名 <p>□平均満足度 4.93（5 点満点）</p>
--	--	---

ウ 使命 3：地域コミュニティが抱える課題に対して文化芸術を通じたアプローチを行うことで、市民の皆さんがこうした課題に気付き、考えを深める契機を創出する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●文化芸術を媒介として、分野を越えた協働により地域コミュニティの課題に向き合います</p>	<p>●地域課題に対して、施設が持つ文化芸術の手法によるアプローチの可能性を模索し、他の団体や機関と協働の中から、課題に向き合えるきっかけを作り、気づきの機会を提供</p> <p>□協働する団体 5 団体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「あざみ野認知症の人にやさしい街プロジェクト」（やさしい街あざみ野実行委員会）メンバーとしての参加し、当施設の周知やイベントの告知、情報収集を行うことができた。 ■荏田地域ケアプラザ・GRASP㈱との共催により「アート+認知症 やさしい美術鑑賞会」を実施。参加者募集、当日の参加手配とフォロー、振り返りのアドバイスをいただいた。 ■荏田の慶應義塾横浜初等部、あざみ野の山内小学校の 2 校で、図工の授業として「カメラと写真ワークショップ」を開催。 ■ワークショップの成果展を小学校 2 校の合同で開催。当ギャラリーが媒介となり公立と私立の学校の地域でのつながりを創り、関係者の来館を促した。

	<p>■青葉区のダンス名門校・市ヶ尾高校ダンス部に声をかけてパフォーマンスを行ってもらい、活動の紹介につながった。</p> <p>■フェローアートギャラリーのアウトリーチとして青葉区民文化センターフィリアホール外通路にて作品3点を展示。令和3年度に続き3回目。【再掲】</p> <p>□フィリアホールとの協力・共催事業 2回 • 9/10 あざみ野カレッジ アナログレコードで聞く「クラシック音楽の録音技術とその発展」 フィリアホール副館長が講師を勤める • 6/29-9/3 フェローアートギャラリー・エクステンション 毛利秀勝展 フィリアホール外廊下</p> <p>□横浜市歴史博物館との協力事業 2回 よこはま縁むすび講中として開催 • 1/20 あざみ野カレッジ 講師 横浜市歴史博物館学芸員 橋口豊 • 2/10 あざみ野カレッジ 講師 当館主任学芸員 日比谷安希子</p> <p>●「やさしい街あざみ野実行委員会」への参加 □「やさしい街あざみ野実行委員会」へ鑑賞会参加呼びかけ 1回 □委員会でのちらし配布と説明 1回</p> <p>●財団他施設との協働 □横濱ジャズプロムナードとの共催コンサート 1回 □横濱ジャズプロムナード連携 2回 Welcome! ロビーコンサート • 9/10 JAZZ名盤のオーディオコンサート • 10/22 みなとみらいスーパービッグバンド公演</p> <p>□財団他施設との共催事業 1回 □大佛次郎記念館との連携事業 1回 • 7/20-9/10 大佛次郎没後50年記念「猫と大佛次郎展」 2F</p>
--	--

		<p>□赤レンガ倉庫1号館との連携事業 1回 ・8/3 あざみ野ダンス・ラボ「姿勢教室」共催</p> <p>□横浜美術館との連携 1回 ・8/20 あざみ野ダンス・ラボ エクステンション 「憧れて踊る 憧れを語る」主席学芸員トーク（動画による出演）</p> <p>●北部4区文化施設との協働</p> <p>■みどりアートパーク、フィリアホールとの事業または広報連携</p> <p>●青葉区内他施設との協働</p> <p>□山内図書館との広報連携 1回</p>
<p>●市民が自ら課題に気づき考えを深める契機を創出します</p>	<p>●認知症の方とその家族のための鑑賞会</p> <p>□企画展鑑賞会 2回</p> <p>■地域ケアプラザとの協働</p> <p>●「予約制だよ！あざみ野 親子のフレーズン」「親子で造形ピクニック」アンケート実施</p> <p>□毎回</p> <p>●ワークショップ・講座参加者への文化芸術参加環境等に関するアンケート実施</p> <p>□毎回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」参加者への「生涯学習」等に関するアンケート実施</p>	<p>□フォト・アニマル中止により図書館でのパネル掲出なし（未達）</p> <p>■山内地区センターで子どものプログラムのアウトリーチ実施 1回</p> <p>■認知症の方とその家族、介護者のための対話型鑑賞会の開催 2回【再掲】</p> <p>■荏田地域ケアプラザ・GARASP(株)と上記事業を共催で開催</p> <p>□アンケート実施 毎回</p> <p>□アンケート実施 毎回</p> <p>□アンケート実施 每回</p>

	<p>□7回</p> <p>●「あざみ野カレッジ」のオンライン配信</p> <p>□講座 1回</p> <p>●アートサポーター活動の再開準備</p> <p>□登録者 200名</p> <p>□活動 年1回</p> <p>●フェローアートギャラリー【再掲】</p> <p>□年3回</p> <p>□作家へのフィードバック 每回</p> <p>●フェローアートギャラリー・エクステンション【再掲】</p> <p>□1か所</p> <p>●あざみ野フェローマルシェ</p> <p>□年 5回 来場者 3,000名</p> <p>○あざみ野サロン開催</p> <p>■男女共同参画センター横浜北との共催</p> <p>□年2回</p> <p>□うち当館企画 1回、100名</p> <p>○アートフォーラム18thアニバーサリー</p> <p>□10月 21、22日 1</p>	<p>□費用対効果の観点から実施なし（未達）</p> <p>■今後のカレッジ登録の特典として2/10講座についてショート動画を作成、R6に配信予定</p> <p>□7/28-8/7 「あざみ野こどもぎゃらりい 2023 ぞうけいラボ」でアートサポーター活動展開のべ23名</p> <p>■HPでアートサポーター随時募集 登録者数 197名（未達）</p> <p>□フェローアートギャラリー 年3回 実施</p> <p>□フェローアートギャラリー・エクステンション 年1回、フィリアホール外廊下</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ 年6回開催 6/8, 8/4・5, 10/21・22, 11/18 来場者数：7,502名 のべ参加団体数：42団体</p> <p>□あざみ野サロン 計2回 ・10/21 VOL. 77 映画上映「波紋」219名 ・10/22 「バズったアニメからみるジェンダー意識」 22名 共催だが企画は2本ともセンター横浜北による。当館は広報協力に留まる</p> <p>■10/21・22 アートフォーラムあざみ野 18thアニバーサリー開催</p> <p>□来場者 計1,952名（未達）</p>
●センター横浜北との連携をさらに充実させます		

	<p>回 2,000 人 ※男女共同参画センター横浜北との共催</p> <p>○ Welcome ! ロビー コンサート【再掲】</p> <p>□年 7 回 延べ 700 名 ※男女共同参画センター横浜北と共催</p>	<p>□Welcome ! ロビーコンサート【再掲】 年8回、来場者数 計 888 名</p>
--	---	---

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、かつ、地域の様々な資源を有機的に結び付け、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に貢献する。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p>●地域の資源を発掘し、市民つなぎます</p> <p>●地域の様々な担い手とつながる機会を作ります</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」 地元の地域資源を題材とする講座 □年 3 回 100 名 ※一部「よこはま縁むすび講中」として開催</p> <p>●地元大学等と事業連携 □学生ボランティアに参加による事業 1回</p> <p>●あざみ野フェローマルシェ【再掲】 □年 6 回 3,000 名</p> <p>●アートプラザのお弁当やさん □年 24 回</p>	<p>□あざみ野カレッジ「地域資源部門」【再掲】 年 3 回 計 55 名 ・9/10、1/20、2/10 ※1/20 と 2/10 はよこはま縁むすび講中事業（横浜市歴史博物館×横浜市民ギャラリーあざみ野）</p> <p>●関東学院大学と講座出講について相談（未実現） ●大学生の博物館実習の受け入れ 3名 ●龍谷大学曾我研究室への協力 ダンサー紹介</p> <p>□あざみ野フェローマルシェ【再掲】 年 6 回開催</p> <p>□北部地域で主に活動するキッチンカー・移動販売車のアートプラザでの出店 年 23 回 臨時休館中は出店なし ■新規定期出店 1 店 ソパイヴィダ</p>

		<p>■定期出店終了 WABISABI</p> <p>□10/21, 22 アートフォーラム 18th アニバーサリーとして開催 1回 【再掲】 ※男女共同参画センター横浜北と共に 2日間に両館の事業やフェローマルシェを集中して展開し開館記念日のイベント感を醸成</p>
	<p>○アートフォーラム 18th アニバーサリー □ 10/21, 22 1回 2,000名 ※センター横浜北との共催</p> <p>○青葉区主催事業への共催 ※青葉区地域振興課と協力</p>	<p>□青葉区主催事業への共催 実行委員会参加、会場設営・運営協力を行った。 ・7/8-16 あおば美術公募展 ・11/29-12/11 青葉区民芸術祭</p>
		<p>■神奈川県立麻生養護学校の職業体験受け入れ 生徒2名をアートフォーラムあざみ野として2日間×2回受け入れ（センター北1回・ギャラリー1回）</p>
		<p>■山内小学校学校運営協議会メンバーとして館長が出席し意見交換</p>
<p>●北部地域の文化施設全体が、文化的コモンズの形成に貢献できるよう協働します</p>	<p>●地元企業との連携・協力による子ども向けワークショップ・教育PF事業 □年1回開催</p>	<p>□横浜市芸術文化プラットフォームで使用する造形の資材を地元企業の古河電工パワーシステムズ㈱から提供を受け実施 1校 □古河電工パワーシステムズ㈱の新採用者研修にリサイクルアートをコーディネート 4/28 1回 12名</p>
<p>●新たつながりと活力を生む、「あざみ野河津桜坂文化圏（仮称）」創出</p>	<p>○よこはま縁むすび講中事業実施 □小学校カメラワークショップなど4事業</p>	<p>■文化庁「令和4年度 Innovate MUSEUM 事業」助成不採択となったため事業はカレッジ事業2本を共催で実施し、講中実行委員会では構成員によるポスター展示を実施 □よこはま縁むすび講中事業 ・1/20 あざみ野カレッジ「かやぶき屋根プロジェクトって何？」 ・2/10 あざみ野カレッジ「写真が可視化したもの」 ・2/20-2/24 みなきたマルシェ よこはま縁むすび講中ポスター展示</p>

	<p>●周辺地域施設等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ■あざみ野散歩動画公開 ■山内図書館、地区センターとの事業連携 ■「やさしい街あざみ野」実行委員会との協働 ■横浜慶應初等部ほか地元教育期間との連携模索 ■近隣支援学校・養護学校生徒の職業体験受け入れ ■東急田園都市線沿線「文化施設」相互ピアレビュー実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■「アートフォーラム通り」動画の公開継続 あざみ野駅をはじめ、地区センター、メルセデスベンツあざみ野等近隣の15の施設・店舗を紹介するYouTube動画 ■臨時休館期間中に山内地区センターであざみ野ファミリーワークショップをアウトドアで開催 ・2/18 「空き箱カメラをデコろう」 ■荏田地域ケアプラザとの共催による事業開催 ■慶應横浜初等部、山内小でのワークショップ、展示開催 ■臨時休館期間中に山内小学校でダンスワークショップを実施 講師 南條健吾 ・2/1・8・15 3年生4クラス のべ411名 ■山内小学校卒業制作指導にアーティストを紹介し投げき板が完成 ■職業体験受け入れ 12/6,7 神奈川県立麻生養護学校高等部生徒2名 ※使命3再掲 ■みどりアートパークとダンス事業についてピアレビュー実施／「憧れて踊る 憧れを語る」「インクルーシブダンス のはらハみどり」 ■みどりアートパーク（長津田）、フィリアホール（青葉台）との隔月で3館オンラインミーティングを実施し情報共有・意見交換、また拡大版としてかなっくホール、あじさいプラザが参加。 ■古河電工パワーシステムズ㈱が取り組む緑化プロジェクトに、地域団体へのアプローチと広報面で協力。地域メディアへの掲載に繋げた。
--	--	--

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を發揮し、北部地域の市民の皆さんに親しまれる施設となる。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●利用者ニーズの把握	■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のルール徹底	<ul style="list-style-type: none"> ■利用者と打ち合わせ時に横浜市文化施設ガイドラインの確認 ※5月に5類移行

	<ul style="list-style-type: none"> ■手指消毒、検温、マスク着用 ■三密回避の展示活動 ■キャッシュレス導入 ■アンケート実施と意見共有 ■意見聴取（ヒヤリング）実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■交通系、クレジット、電子マネー、PayPay、楽天ペイ導入済み ■親子のフリーゾーンでは支払の約60%がPayPay利用 ■アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・展示室：利用終了日までに実施 ・アトリエ：継続的利用団体は年度末、単発利用団体は都度実施 ・イベント来場者：アンケート配布またはQRコードによるWEB上でアンケート回答 ■アンケートデータは質問項目を集計しイベント開催から1週間以内にスタッフ全員に回覧して情報共有を図った。 ■意見聴取（ヒヤリング） <ul style="list-style-type: none"> 展示室利用者は打ち合わせの際に実施 アトリエ利用者はアンケートに替えて実施
●施設貸出の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ■公平・公正で透明性の高い施設貸出を実施 ■専門性の高いサポート、ホスピタリティを提供 ■新規貸館利用者の創出に向けSNS活用 ■施設予約システムの試行スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施。利用団体の高齢化を考慮し展示および撤収作業について安全な作業への目配りを行った。 ■WEBでの貸館情報の発信、SNSを活用し施設情報や貸館のようすを発信 ■11月より施設予約システム「いつでも貸館」導入し、ダブルブッキングの防止を含めた業務効率化を図った
●施設貸出の流れと取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■展示室：1週間単位で利用受付／時期 	<ul style="list-style-type: none"> ■展示室：1週間単位（火曜日～月曜日、平成28年10月に改定、最長2週間まで）で利用を受付

	<p>が迫った空き室は 1 日単位で利用受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空き情報をホームページ上で公開、SNS 等で情報発信 ■ 専門性に基づいた展示構成アドバイス 	<p>※利用まで 3か月を切る空室については、日単位で貸出を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空き情報を即時 HP で公開 ■ 感染症の状況と利用者の利便性に配慮し、アトリエの利用抽選会は来館ではなく事前希望を聞いて集約、重複案件のみ抽選会実施に変更 ■ 専門性に基づいた的確なアドバイスの実施
●利用者へのコミュニケーションとサポート	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンシェルジュとして相談受 ■ 利用団体に対しての広報協力 ■ 物品の預かり 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 記載のとおり実施 ■ 初めての利用者には搬入から搬出まで立ち会って対応や作品搬出搬入・設営業者の相談 ■ 利用団体に対しての広報協力 <ul style="list-style-type: none"> ・ HP へ「展示室・アトリエスケジュール」掲載 ・「ヨコハマ・アートナビ」、「マグカル」等への情報提供 ・ 利用期間中の展示の様子を HP、SNS で発信 ・ 情報誌『アートあざみ野』への情報掲載 ・ エントランスロビーのラックにチラシの配架 ■ アトリエ継続的利用団体への備品保管ボックス貸出を継続実施 ■ 今年度より要領を定め「新共催」制度を導入し、優れた企画に対して当館が共催しサポートする制度がスタート 対象事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/20 あざみ野ダンスラボエクステンション 「憧れて踊る 憧れを語る」 ・ 12/23 ロビーコンサート パイプオルガン鼓笛隊
●文化施設としての専門性を發揮するための人材配置とその育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財団人材マネジメント・ポリシーを遵守 ■ 事業担当と施設運営担当について適正に配置 ■ OJT 及び各種研修による職員育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 記載どおりに実施 ■ 記載どおりに実施 ■ 記載どおりに実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 財団で実施する研修に職員が参加

力 使命 6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。
予防的修繕にも着実に取り組む。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●施設管理・環境維持・警備等－共有部分について	<ul style="list-style-type: none"> ■新型コロナウイルス感染症対策の徹底 □管理合同ミーティング 月3回以上 ■法令を遵守し必要な保守点検や測定の実施 ■職員による日常的な目配りにより不具合早期発見 	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市文化施設ガイドラインに沿って対応、5月より5類移行に伴い終了 □センター横浜北・管理委託会社である西田装美株との3者による管理合同ミーティングを毎火曜日に開催 ■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施
●施設管理－専有施設について	<ul style="list-style-type: none"> ●展示室の維持管理 ■不具合の発生には隨時対応 ■修繕、保守点検を実施（専有部） <ul style="list-style-type: none"> ・1/25・31 展示室壁面塗装 ・12/18 収蔵庫空調サイリスタ交換工事（横浜市による） ■貸出附帯設備・音響設備の点検、整備／隨時陶芸用電気窯保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・3/6 定期点検、3/23 強制停止による臨時点検 □土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回 1回 ■修繕、保守点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・2/21 アトリエ壁面補修 ■衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り 	<ul style="list-style-type: none"> □展示室壁面の塗装チェック・必要箇所の塗り直し年1回 □展示室可動パネルの保守点検 年1回 □展示室可動パネルの消耗品交換、稼働状況のチェック、壁面の補修／隨時展示室貸出備品の点検・整備／隨時高所作業車保守点検／年1回 ■修繕、保守点検を実施（専有部） <ul style="list-style-type: none"> ・1/25・31 展示室壁面塗装 ・12/18 収蔵庫空調サイリスタ交換工事（横浜市による） ■貸出附帯設備・音響設備の点検、整備／隨時陶芸用電気窯保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・3/6 定期点検、3/23 強制停止による臨時点検 □土練機、パネルソー保守点検／利用状況により2年に1回 1回 ■修繕、保守点検を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・2/21 アトリエ壁面補修 ■衛生設備（新ガス消火設備、連結散水設備等）保守点検／業務の基準の通り
●アトリエの維持管理		

		昇降機設備保守点検／業務の基準の通り
●横浜市所蔵カメラ・写真コレクション（収蔵庫）	●その他（搬入口・荷捌室・作品保管庫等）管理 ●収蔵庫の環境維持 ■コレクション作品管理	<p>□通常で温度 $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$、湿度 $50\% \pm 2\%$を維持 pH 値を定期的に測定し、結果に応じケミカルフィルター一年 2 回交換</p> <p>□文化財喰害虫生息調査／年 8 回実施</p> <p>□担当学芸員ほか職員による定期的な清掃／月 1 回</p> <p>□担当学芸員の立会いのもとに庫内の機器、設備の点検を実施／月 1 回</p> <p>■収蔵庫担当による日々の庫内点検実施（目視もしくは監視カメラ）</p> <p>□収蔵庫設備の保守点検 　収蔵庫、展示室空調設備保守点検／年 1 回 　・9 月/3 月 パッシブインジケータによる測定、フィルター交換</p> <p>■地震発生時は即状況を確認し横浜市と財団に報告</p> <p>■コレクション作品管理貸出、熟覧、画像提供</p>
●維持保全・修繕について	■計画的・予防としての修繕 ■緊急を要する修繕 ●備品管理の適正化	<p>■共有部：センター横浜北・設備管理会社と連携</p> <p>■専有部：今後必要となる修繕項目について検討し 1 件 60 万円を超える事案に関してはモニタリング等を通じて設置者に情報共有・相談記載のとおり実施</p> <p>■緊急を要する修繕 業務の基準に則り速やかに横浜市、関係各所へ連絡・報告を行う。運営に支障がないことを最優先に応急処置を取りつつ、最適な対応を検討、実施</p> <p>■エントランス天井の雨漏りおよび天井パネル交換工事を横浜市の負担で実施 ・7/19-9/15 屋上防水工事 ・8/28 パネル落下防止ネット敷設 ・10/30-11/2 エントランス天井パネル交換工事足場設置のための臨時休館 ・2/1-3/11 天井パネル交換工事のため臨時休館</p> <p>■物品管理票（シール）添付 ■物品台帳を補足するため写真データ簿作成 随時</p>

<p>●事故防止・防火 防災・保険・感染症対策等</p> <p>●災害時対応－地域に頼られる公共施設として</p>	<p>■物品管理表の見直 ■写真帳導入の検討 □ 物品棚卸の実施 1回</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対応の徹底</p> <p>●事故対応 ■怪我や急病人への迅速な対応 □スタッフ研修の実施 ■AED の設置 ■事故発生時は速やかに事務局長・横浜市に報告、原因調査 ■防火防災 合同防災訓練／年 2回</p> <p>■施設賠償責任保険への加入 ■動産保険等への加入 □帰宅困難者一時滞在施設対応訓練／年 1回 ■日常的なネットワークを構築し、地区全体での防災力を強化</p>	<p>□棚卸の実施 10月 1回</p> <p>■横浜市によるガイドラインに沿った対応 5類移行に伴い対応終了、入り口自動検温器と手指消毒液は継続設置 ■講座・ワークショップ参加費の支払いにキャッシュレス決済（クレジットカード・電子マネー・交通系マネー・PayPay）導入継続</p> <p>■来館者の怪我、急病や多目的トイレの緊急呼出等、異常発生があれば、センター横浜北・ギャラリーあざみ野の職員 1名ずつが即時に急行し対応。 ■救急要請にスムーズに対応できるよう、スタッフの研修を実施し、全員が研修受講済み。 ■事故発生時の報告手順の見直し・徹底 3/19 陶芸用電気窯より発煙し消防・セコム臨場</p> <p>■センター北、設備管理会社とともにアートフォーラム自衛消防隊を組織 ・9/5 第1回 合同防災訓練、通報訓練 ・2/20 第2回 合同避難訓練、煙体験・水消火器訓練</p> <p>■センター横浜北と協議し適切な施設賠償保険に加入 ■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険等については、個別に適正な保険を契約</p> <p>□帰宅困難者一時滞在施設マニュアルの配布に代えた</p> <p>■記載のとおり実施 ■スタッフ全員が救急救命研修受講済み ■子どものアトリエ担当は乳幼児向け救急救命講習を受講 ■1F 自販機 1台を災害用ベンダーとして契約締結</p>
---	--	---

●業務計画・報告 および評価	■飲料自動販売機に災害用ベンダーを導入	■記載どおりに実施
	■事業計画書・事業報告書の作成・提出	■記載どおりに実施
	■日報・月報の作成、月間業務報告	■記載どおりに実施
	■業務評価（自己評価）を実施	

2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

[目指す成果] ●専門職員、管理・運営職員ともに適切な人材を配置	[取組内容及び達成指標] □人材の配置について	[実施内容と達成状況] □人材の配置について				
	項目	人数	備考	項目	人数	備考
●適切かつ効果的な勤務体制を確立	館長	1人		館長	1人	
	副館長	1人		副館長	1人	
	職員	8人		職員	8人	
●切れ目のない責任体制の維持	臨時職員	3～5人	短時間勤務	臨時職員	3人	短時間勤務
	□勤務体制について 基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは11：00-19：45）2名 ※全職員によるローテーション制	□勤務体制について 基本：早番（8：45-17：30）2名 遅番（12：30-21：15もしくは11：00-19：45）2名 ※全職員によるローテーション制 ※短時間勤務職員2名	□勤務体制について ■施設利用に応じシフトを組み職員のワークライフバランスに配慮した勤務と効率的な運営を両立 ■リモートデスクトップを活用した在宅勤務含む勤務体制導入 ■館長・副館長不在時の代行者を定め責任体制を明確化	■記載のとおり実施 □リモートデスクトップによる在宅勤務制度終了のため導入せず □月平均超勤時間 10.7時間／人集計中 ■記載のとおり実施、体制について徹底		

イ 必要人材の配置及び能力担保

[取組内容] ●専門職員、管理・運	[達成指標] ■館長・事業責任者：当財団	[実施内容と達成状況] ■記載のとおりに配置
--------------------------	-----------------------------	-------------------------------

営職員とともに適切な人材を配置	<p>や民間で文化事業や施設運営について十分な経験を有し、芸術分野全般への理解があり、マネジメント能力の高いベテラン職員を配置</p> <p>■副館長・管理運営責任者：連絡・調整をはじめとする施設を管理・運営するための基礎的な業務能力を有し、当財団や民間での文化事業や施設運営の経験を有する職員を配置</p> <p>■事業系及びコレクション担当：美術に関する専門教育を修め、学芸員の資格を有する職員または鑑賞・造形教育エデュケーター、もしくは両者を志望する職員を配置</p> <p>■写真・映像を扱うコレクション担当の学芸員を配置</p> <p>■全国美術館会議に加盟し研修等を活用</p>	<p>■記載のとおりに配置</p> <p>■記載のとおりに配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 2名 ・エデュケーター 3名（副館長含む） <p>■記載のとおりに配置</p> <p>■記載のとおりに実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/6-7 教育普及部会研修参加 2名
-----------------	---	--

ウ 横浜市の重要施策を踏まえた対応

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●適正な個人情報保護・情報公開 	<p>■横浜市の発信する情報や指定管理者研修会への参加等を通して重要施策を理解し、積極的に協力</p>	<p>■記載のとおりに実施</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●人権尊重 	<p>■財団のコンプライアンス委員会の情報を共有し、職員・スタッフのコンプライアンス意識を高める</p> <p>■新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った感染症予防対策の徹底</p> <p>■個人情報は規程及びマニュアルに基づき適切に取り扱い</p>	<p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p>

	<p>■すべての人に開かれた施設として公平・公正な施設運営のため人権尊重の取組み □研修参加、情報共有 年1回</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 12月「ハラスメント防止講座」受講 • 12/27, 1/19, 2/21 横浜市主催人権研修オンライン受講 3名
●環境への配慮	<p>■ゴミを適切に分別し排出量を抑制 ■利用者にゴミの持ち帰りの原則を徹底、ゴミ袋販売はコロナのため中止 ■電気とガスの使用量を極力抑制</p>	■記載どおりに実施
●市内中小企業への優先発注	<p>■物品購入・委託等は、アーティスト指定や市外業者のみが取り扱うものを除き、市内中小業者に発注を努力</p>	■記載どおりに実施

(3) 管理について

ア カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管

[取組内容]	[達成指標] ※「使命5」再掲	[実施内容と達成状況]
<p>●貴重なコレクションを良好な状態で次代に引継ぎ、最大限活用するために、適切な収蔵、保管にあたります。</p>	<p>●収蔵庫内環境維持 □年間通して温度 $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$、湿度 $50\% \pm 2\%$ ■pH 値を定期的に測定し、結果に応じたケミカルフィルターを設置 □文化財喰害虫生息調査 年8回実施 □庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回 ●専門機関との連携、協力 ■日本カメラ博物館、横浜美術館、東京都写真美術館等と情報交換、専門分野の助言受け ■全国美術館会議の専門研修参加や情報交換を活用</p>	<p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>□文化財喰害虫生息調査 年8回実施 □庫内点検、定期的な清掃を実施 月1回</p> <p>■記載どおりに実施</p> <p>■記載どおりに実施</p>

イ 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●アートフォーラムでは、全職員（横浜市民ギャラリーあざみ野、センター横浜北、管理委託会社）が、日常的に危険箇所や不審者等を早期に発見し、対処します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種マニュアルの隨時見直し、必要に応じて更新 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載どおりに実施／更新なし
<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時には「利用者の安全第一」と「迅速さ」を基本方針として対応します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■危機管理マニュアルの見直しと必要に応じた更新 ■常に全職員がマニュアルを理解するように定期的に確認、緊急時は「アートフォーラムあざみ野」全スタッフが一致して対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載どおりに実施／更新なし ■帰宅困難者一時滞在施設受け入れマニュアルの備え置き ■記載どおりに実施
<ul style="list-style-type: none"> ●防災の取組みとして、自館の防災はもちろん近隣の防災拠点としての役割も担います。 	<ul style="list-style-type: none"> □センター横浜北との合同防災訓練 年2回 □帰宅困難者一時滞在施設対応訓練 年1回 	<ul style="list-style-type: none"> □センター横浜北との合同防災訓練 年2回実施 【再掲】 □マニュアル配布に代える【再掲】

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室・アトリエとともに、現在の利用区分（単位）・料金が定着しているため、従来の設定を踏襲します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■従来の料金体系に沿った利用料設定を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり運用
<ul style="list-style-type: none"> ●割引、減免制度については、横浜市民ギャラリー条例・同施 	<ul style="list-style-type: none"> □横浜市主催事業：50%減免 □横浜市共催もしくは実行委員会に参加する事業：30%減 	<ul style="list-style-type: none"> ■記載のとおり運用

行規則に従って運用します。	免 □ギャラリーあざみ野共催及び協力事業：主催者との協議により30～100%減免 ■アトリエ利用における、夜間割引や学生割引の導入	■記載のとおり運用 ■利用促進のための共催基準の要綱を新規に制定
---------------	---	-------------------------------------

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●自主事業の一部については、指定管理料を充当せずに行います。 ●利用料金収入を安定的に確保します。 ●助成金・協賛金、現物協賛の獲得を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■収支ゼロで執行する事業：市民のためのプログラム ■展示室・アトリエ利用料金収入 8,0000千円 □外部助成金の申請 3件以上 □助成金・協賛金・広告料等の外部資金 50万円以上 	<ul style="list-style-type: none"> □市民のアトリエ事業 収支プラスで執行 □利用料金収入（施設・駐車場等） <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用料 6,780,700円 ・駐車場利用料 3,202,300円 ・自動販売機手数料 446,890円 □事業に対する助成金採択2件（申請2件） 計2,641,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁・芸術文化振興基金 ※企画内容変更により取り下げ 1,000,000円 ・文化庁・障害者等の文化芸術活動推進助成金 1,641,000円 ・フォトアニュアル中止により野村財団への申請は見送り □民間企業への美術ワークショップの研修提供による収入 1件 <ul style="list-style-type: none"> ・古河電工パワーシステムズ㈱ 100,000円 □寄付金 0件 □情報誌「アートあざみ野」広告掲載料収入 2件 90,000円

(3) 経費削減等効率的運営の努力

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
--------	--------	-------------

○経費削減、効率的運営を行います。	■センター横浜北とも協力し、施設管理にかかる委託費を前年度並みに抑制	■記載のとおり努力 ■物価の高騰、とりわけ電気料金・ガス料金・人件費の負担が増大し、収支の見直しを行った。
-------------------	------------------------------------	--

6 PDCA サイクルの確実な運用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●PDCA サイクルの基本指標となる日報、月報の作成・管理を確実に行います。	□業務日誌（日報）の作成 休館日を覗く毎日 □月次報告の作成、モニタリング実施 月1回	□記載どおりに実施
●事業計画書・事業報告書の作成・管理を行います。	□事業計画書・事業報告書の作成 1回 □完了報告書の作成	□事業計画書・事業報告書の作成 各1回 □完了確認表（自己評価表）の作成により事業報告書を補完
●業務評価を実施します。	□自己評価（仮決算含む） 年1回	□自己評価（仮決算含む） 年1回

7 その他

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
●市民の生命と安全を守ることを第一義として、適切な保険に加入し、万一に備えます。	■施設賠償保険に加入【再掲】 アートフォーラムあざみ野（建物）としてセンター横浜北が契約し費用については応分負担 ■作品借用や施設外事業、ボランティアに係る保険契約については、個別に契約【再掲】	■記載のとおり実施 ■記載のとおり実施
●関係法令を順守し、公的機関としての役割を果たします。	■関係法令を遵守するとともに法令改正を意識	■記載のとおり実施
●よりよい市民サービスの提供を目指し、市及び関係機関との連絡調整を行います。	■事故や不具合時は横浜市・事務局に即日報告し随時情報共有	■記載のとおり対応

令和5年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	163,506,000		163,506,000	163,506,000	0	横浜市より(R5年度賃金スライド分を含む)
利用料金収入	8,000,000		8,000,000	6,780,700	1,219,300	展示室・アトリエ利用料金(附帯設備利用料含む)
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	0		0	0	0	
自主事業収入	2,273,000		2,273,000	2,507,250	△ 234,250	※助成金は採択不確定のため予算化していません。
助成金・協賛金収入			0	1,473,237	△ 1,473,237	文化庁令和5年度障害者等による文化芸術活動推進事業、博物館実習
横浜市による運営支援(休館期間等)					0	
横浜市による運営支援(利用再開後の期間等)					0	
雜入	5,048,000	0	5,048,000	4,959,585	404,541	
物販等手数料	23,000		23,000	52,000	△ 29,000	お弁当やさん事業出店料等
自動販売機手数料	630,000		630,000	681,941	△ 51,941	
駐車場利用料収入	3,500,000		3,500,000	3,003,950	496,050	収入をセンター北と折半
協賛金・助成金・負担金・寄付金	730,000		730,000	1,046,126		芸術文化教育プラットフォーム等
その他(センター北負担金等)	165,000		165,000	175,568	△ 10,568	センター北と共に事務機器等管理、Wi-Fi等の按分経費等
収入合計	178,827,000	0	178,827,000	179,226,772	△ 83,646	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	76,084,000	0	76,084,000	76,566,342	△ 482,342	
給与・賃金	64,056,000		64,056,000	64,007,463	48,537	職員(10名)、常勤アルバイト1名、企画展短期アルバイト、プログラム補助アルバイト分
社会保険料	7,825,000		7,825,000	8,625,504	△ 800,504	
通勤手当	1,727,000		1,727,000	1,421,332	305,668	
健康診断費	63,000		63,000	39,209	23,791	
勤労者福祉共済掛金	48,000		48,000	48,000	0	
退職給付引当金繰入額	2,365,000		2,365,000	2,424,834	△ 59,834	
事務費	4,008,000	0	4,008,000	4,594,419	△ 586,419	
旅費	50,000		50,000	66,024	△ 16,024	
消耗品費	855,000		855,000	1,764,668	△ 909,668	展示室蛍光灯の購入交換他
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	50,000		50,000	0	50,000	
広報宣伝費	0		0	110	△ 110	
通信費	577,000		577,000	589,639	△ 12,639	
使用料及び賃借料	1,749,000	0	1,749,000	1,723,751	25,249	
横浜市への支払分	127,000		127,000	126,178	822	行政目的外使用料(飲料自販機、アートプラザのお弁当やさん事
その他	1,622,000		1,622,000	1,597,573	24,427	PC・プリンタ・AED等リース、放送受信料、足ふきマットレス、セコリティワード・ドメイン等使用料等
備品購入費	150,000		150,000	0	150,000	
図書購入費	0		0	0	0	税抜価格15,000円以上の図書購入に使用
施設賠償責任保険	80,000		80,000	97,787	△ 17,787	
職員等研修費	0		0	8,000	△ 8,000	
振込手数料	250,000		250,000	187,550	62,450	
リース料	0		0	0	0	300万以上のリース物件に使用
手数料	240,000		240,000	155,210	84,790	産業廃棄物処理、インターネットバンキング、アリバード品のクリーニング等。
地域協力費	0		0	0	0	
その他(雑支出等)	7,000		7,000	1,680	5,320	
事業費	22,302,000	0	22,302,000	18,340,582	3,961,418	エンタテインメント天井パネル工事にともなう臨時休館(2/1~3/11)により、フォトアミュール(企画展2本)、親子のフリーゾーンなど各種プログラムの中止・延期による執行額の減
自主事業費	22,302,000		22,302,000	18,340,582	3,961,418	※自主企画展・ワークショップアルバイト費用は人件費に計上
管理費	62,816,000	0	62,816,000	62,030,756	785,244	
光熱水費	18,500,000	0	18,500,000	15,741,515	2,758,485	エンタテインメント天井パネル工事にともなう臨時休館(2/1~3/11)による執行額の減
電気料金	12,700,000		12,700,000	10,646,603	2,053,397	
ガス料金	3,700,000		3,700,000	3,186,303	513,697	
水道料金	2,100,000		2,100,000	1,908,609	191,391	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	1,400,000		1,400,000	3,568,336	△ 2,168,336	
機械警備費	180,000		180,000	174,900	5,100	
設備保全費	42,736,000	0	42,736,000	42,546,005	189,995	共用部(センター北)が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	440,000		440,000	95,150	344,850	
消防設備保守	550,000		550,000	519,750	30,250	
電気設備保守	1,020,000		1,020,000	473,550	546,450	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	共用部: 建物総合管理契約に含む、専有部: 事業費に含む
駐車場設備保全費	465,000		465,000	462,000	3,000	
その他保全費	40,261,000		40,261,000	40,995,555	△ 734,555	清掃費、エレベーター保守管理(専有部)、収蔵庫空調(専有部)を含む
共益費	0		0	0	0	
公租公課	6,690,000	0	6,690,000	6,833,150	△ 143,150	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	6,603,000		6,603,000	6,760,228	△ 157,228	
印紙税	30,000		30,000	16,200	13,800	
その他(法人税)	57,000		57,000	56,722	278	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	6,927,000	0	6,927,000	6,927,000	0	
本部分	6,927,000		6,927,000	6,927,000	0	
当該施設分			0	0	0	
支出合計	178,827,000	0	178,827,000	175,292,249	3,534,751	
差引	0	0	0	3,934,523	△ 3,618,397	